

社協ボランティア

(No.13)

情報誌

平成 24 年 2 月 25 日 発行

西和賀町社会福祉協議会・西和賀町ボラン

ティアセンター・西和賀町川尻 40-73-82

TEL 84-2161 FAX 82-3572

スノーバスターズ活動中!

平成二十四年一月十五日
(日) 沢内トレーニングセンターにて、今年度のスノーバスターズ出動式が開催されました。

式では、細井洋行町長や、社協の太田祖電会長から激励の言葉が寄せられました。今年度の会員は、二九六名で、その中から代表して西和賀高校二年の泉川崇幸さんが「地域の皆さまの支えとなり、活動していきたい。」と力強く宣誓しました。



▲西和賀高校 2 年泉川崇幸さんの宣誓

今年の対象世帯は一一六世帯。二メートル近くの積雪となり、利用者の皆さんも、

待ち遠しくしていることと思えますが、活動は月一回の統一活動日の他に、降雪状態により順次出動して頂きます。また、町外からの助っ人ボランティアも、申し出があった際には、随時受け付けて、応援いただく体制となっています。今年度もたくさんの方々のご協力により、活動させていただきます。



▲ 完全装備で力強い雪かきありがとうございます!

町外ボランティア

一月十五日・二月五日
ハーティネットワーク

四名・九名

一月三十一日
朋輩(県南広域振興局)

十三名

二月四日
専北ソフトボール部

四十三名

大船渡市消防団第六分団三部

八名

東北大学 立川様

一名

二月五日

立川様

一名

二月十二日

里の旅スノーバスターズ体験

九名

二月十八日

北上信用金庫野球部

十三名

盛岡市 川村様ほか

七名

二月二十一日

西和賀高校・宮古水産高校

生徒会

二十一名



平成二十三年度第三回 一人暮らし高齢者交流会

さる十二月二十七日に、平成二十三年度第三回一人暮らし高齢者交流会が、湯川の高繁旅館で行なわれました。この事業は、自宅に引きこもりがちの一人暮らしの高齢者の方が、外に出るきっかけを提供することや相互の交流を図ることが目的となっており、四十九名の方が参加されました。



▲ みんなで乾杯！！

今回は、『忘年会』ということで、たくさんのお料理を食べながら、カラオケに踊りも飛び出して、にぎやかな交流会となりました。今年度については、あと一回開催予定です、

お誘い
併せの
上ご参
加いた
だけれ
ばと思
います。

いわて『おげんき』 みまもりシステム

皆さんは、「いわて『おげんき』みまもりシステム」について、ご存知ですか？ 地域に暮らす高齢者の皆さんが、一日一回、今お使いのご自宅の電話機を使って健康状態を発信していただきます。発信がないときは、みまもりセンターからご連絡いたします。実際に町内で使われている方に聞いてみました。

一人暮らしのTさん

「娘にも、大変良いことだから、続けるように言われています。毎朝、朝ごはん前にみまもりセンターに電話するようにして、ボケ防止になるし、張り合いになります。今のところは、『いつも元気』で発信しているので、これからも元気に電話していきたいです！」

このことで、利用されている方は、自分の安否を発信することで、安心感があるようです。

また、近隣の方に「みまもりさん」に登録していただき、みんなで見守る体制を作っています。

ぜひ、詳しく知りたい方は、西和賀町社会福祉協議会地域福祉課 電話八四二一六一までお気軽にご連絡ください。

第二十六回北上・和賀地区 ボランティアの集い開催

昨年度は、東日本大震災によつて開催を見送りましたが、今年度は、平成二十四年三月十八日（日）に開催されることになりました。

今回は、昨年三月十一日に発生した震災から今日まで災害復興支援ボランティアとして多くの方々が沿岸地域でのボランティア活動に参加いただきました。震災から一年が

経過し、二年目の災害復興支援ボランティアの活動の足がかりとすることを目的に、沿岸被災地へメモリアルバスの運行を行ない参加者同士や現地の方々の交流を図ることを目的としています。予定では、大槌町で、現地の方から状況についてお話を聞き、そこから釜石市根浜地区の慰霊碑を訪れ、南下し陸前高田市を周るルートです。

なお、今回のボランティアの集いは、町と社会福祉協議会で行なった災害ボランティアとして登録され、沿岸各地域に赴き、活動いただいた方々に呼びかけることとしてあります。

年度末のあわただしい時期ではございますが、万障繰り合わせの上、ご参加くださいますようお願いいたします。是非、この機会に、皆様の目で、皆様が活動した地が一年経過して、どう復興を遂げたかを確認してみてください。

